MONTHLY SUPPORTER

あなたの月々のご支援が、
持続可能な佐賀の未来を創ります

佐賀県では、様々なCSOが、行政サービスでは対応できない地域課題に立ち向かい、県内の資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ」の循環型で持続可能な社会の確立に向けて活躍しています。彼らの活動を支援し、どんな境遇の人たちも取り残さない社会にするために、ご協力いただける「マンスリーサポーター」を募集しています。

ご寄付は、下記の取り組み等の推進の為に活用させていただきます



さが・こども未来応援プロジェクト



エリアマネジメント



佐賀災害支援プラットフォーム



事業評価導入支援研修

マンスリーサポーターになる

月額1,000円よりご支援をお願いいたします。
銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできる、寄付決済ページをご準備しております。
下記の寄付決済ページにて、「支援の種類」から「基金応援寄付（さがつくサポーター）（毎月）」を選択いただき、手続きを進めてください。

寄付決済ページアドレス
https://x.gd/wdpkl
（大文字のアイ↑）

スマホの方はバーコードをスキャンしてください⇒

マンスリーサポーター及びご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金
（愛称：さがつく）
〒840-0813
佐賀市唐人二丁目5番25号
TEL 0952-26-2228
URL：https://saga-mirai.jp/



あなたの志金が
よりよい佐賀の
未来を創ります

2025

ANNUAL REPORT | 令和7年度 年次報告書

<2025年4月1日 ～ 2026年3月31日>

公益財団法人
佐賀未来創造基金

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

代表あいさつ



あなたの想いが、人を育て、つながり、未来を循環させています

日頃より佐賀未来創造基金を支えてくださる皆様に、心より感謝申し上げます。
2025年は世界的な不安定さや物価高、災害の頻発など、地域の暮らしにも大きな影響がある一年でした。その中で私たちは「人と人が繋がることで地域は前に進める」という原点に何度も立ち返りました。
今年度はこれまでの基金運営や災害や子ども、まちづくり支援など、コレクティブインパクト事業に加え、新田信行顧問のもと地域金融機関連携での「ちいきん会佐賀ダイアログ」の立ち上げに加え、一般社団法人佐嘉再興パートナーズ様との「佐嘉再興基金」構想など、地域のお金と想いで支える新たな挑戦が始まっています。
また、12月の「さがCSO交流会」では企業連携を行い、セクターや分野を超えた熱い繋がりが生まれています。佐賀県との進出協定で「サービスグラント」と「AYA」の2つのCSOが佐賀へ誘致されるなど、県内外の知恵の融合も進んでいます。
さらに、佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム支援や、コスメギフト・生活困窮・子ども・災害支援など、皆様と力を合わせた地道な活動も継続しております。
10年以上これらの活動に取り組む中で、何より心を打たれたのは支援の「循環」です。かつて支援を受けた子どもや高校生が、今度は地域や後輩を支える側に廻っています。皆様のご寄付が未来へと続く確かな人の流れを生み出しています。
私自身、2025年後半は佐賀県のAIエバンジェリストや西九州大学デジタル社会共創学環での「NPO・NGO論」の講義を担当するなどを通じ、地域共生や社会課題解決について深く考える挑戦と学びの日々でした。
「まちづくりは人づくり」です。2026年も、これまでの地道な活動に加えてAIやDXなどの新しい力も活用しながら人と人をつなぎ循環していく資源のひとつとして、皆様と共に挑戦を続け、佐賀の未来を育ててまいる所存です。

※CSOとは、Civil Society Organizations（市民社会組織）の略です。佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称しています。

ふるさと納税（NPO等の支援）による当財団へのご寄附をお願いします

公益財団法人 佐賀未来創造基金
ふるさと納税

佐賀県には、「佐賀県ふるさと納税（NPO等支援）」制度があります。
弊財団は、2015年度より、支援先CSOに指定されています。
佐賀県の特産品による返礼品も多数ご準備しており、寄付額に応じて、所得税（還付）・住民税（控除）といったふるさと納税の制度上の優遇が受けられますので、ぜひご支援のほど、よろしくお願いいたします。

↑返礼品をチェック！



CONTENTS

03 CSOへの支援活動
04 冠寄付プログラムによる助成事業
事業指定寄付プログラムによる助成事業
05 分野指定寄付プログラムによる助成事業／社会的弱者への資金援助プログラムによる助成事業
06 他団体との協働による助成事業
07 休眠預金等による助成事業
08 寄付文化の普及啓発事業
09 助成実績
10 会計報告

掲載内容の訂正について

本誌の発行後に掲載内容の誤りが判明した場合は、当財団ウェブサイトにて訂正内容をお知らせいたします。お手数ですが、右のQRコードよりご確認ください。

https://saga-mirai.jp/?p=21126

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2025年度の活動報告｜CSOへの支援活動

社会的課題の解決や、新しい価値の創造のための事業を行う
市民社会組織（CSO）への伴走支援事業を行っています。

■ 佐賀県誘致CSO支援

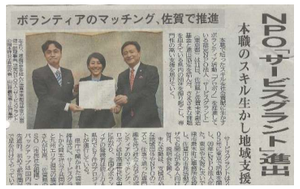
佐賀県では、県外で活躍するCSOを誘致し、人材の流入や新たな雇用を生み出すとともに、県内CSOが誘致CSOとの交流や当該CSOからのノウハウ提供等を通じてスキルアップすることで、一層地域の課題解決につなげる取組みを行っています。（佐賀県ホームページより）
誘致にあたっては、「佐賀県」「誘致CSO」「（公財）佐賀未来創造基金」の3者で進出協定を締結し、県内での活動や生活の為の支援、県内CSOとの交流機会の提供等、誘致CSOに対してしっかりとサポートしています。県外CSOの誘致事業は2014年（平成26年）にスタートし、本年度に進出した「認定NPO法人サービスグラント」と「認定NPO法人AYA」を加え18団体（下表参照）となりました。

	団　体　名	進出年月	活 動 内 容
1	NPO法人ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ	H27.8	視覚障碍者、聴覚障碍者、高齢者の新しい可能性を創出し雇用する
2	公益社団法人Civic Force	H28.2	大規模災害に対し企業、NPO、行政等の連携により迅速かつ効果的な支援を実施
3	認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン	H28.2	国際協力や災害支援活動・伝統工芸振興活動
4	認定NPO法人難民を助ける会	H28.8	15ケ国での災害や難民への支援活動の状況を伝える
5	認定NPO法人ブリッジフォースマイル	H28.10	児童養護施設や里親家庭退所後の自立プログラムの提供
6	認定NPO法人テラ・ルネッサンス	H29.11	平和教育、国際理解教育の促進
7	認定NPO法人日本レスキュー協会	H30.6	災害救助犬の育成・災害時の派遣
8	一般社団法人こども宅食応援団	H30.11	こども宅食事業のノウハウ提供
9	認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（市民協）	R2.3	優しい福祉のある地域社会作り
10	一般社団法人日本カーシェリング協会	R2.5	寄付車で作る支え合いの仕組みつくり
11	認定NPO法人ジャパンハート	R2.11	医療の届かない所へ医療を届ける
12	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム	R3.7	佐賀県の県立高校魅力化推進
13	公益社団法人ピースボート災害支援センター	R4.3	九州・中国地方で起こる災害への支援活動
14	認定NPO法人芸術と遊び創造協会	R5.5	森の恵みを子供達へ、木育を広げよう
15	認定NPO法人グッドネーバーズ・ジャパン	R5.9	食品支援及び体験プログラムの提供活動
16	認定NPO法人D×P	R6.11	若者を孤立させない支援の形を
17	認定NPO法人サービスグラント	R7.12	プロボノで佐賀と九州のCSO活動の基盤強化
18	認定NPO法人AYA	R7.12	病気や障がいのある子供達が安心して参加できる体験の場の提供

佐賀県に誘致されたCSOがしっかりと根を下して、活発な活動を展開しています。



佐賀新聞 2025. 12. 12



佐賀新聞 2025. 12.19



難民を助ける会
佐賀新聞 2024.6.18



日本レスキュー協会
佐賀災害基金 助成報告書



テラ・ルネッサンス



D×P 佐賀新聞 2025.5.17



日本カーシェアリング協会 朝日新聞2020.7.17

2025年度の活動報告｜冠寄付プログラムによる助成事業

荏原環境プラント「e-さが基金」

■ 令和7年度「佐賀市ごみ発電地産地消支援学習プログラム」

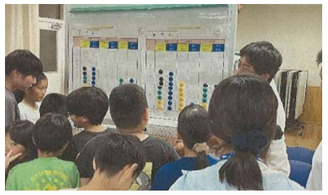
前年度に引き続き荏原環境プラント「e-さが基金」による「佐賀市ごみ発電地産地消支援学習プログラム」を荏原環境プラント（株）新電力事業課、佐賀市環境部循環型社会推進課、（一財）日本環境衛生センターとの協働で行いました。
ごみ発電は、地域で発生した「可燃ごみ」を焼却処理する際に発生する余熱を利用した発電であり、「可燃ごみ」は佐賀市内から排出される一般廃棄物等で構成されています。児童生徒の生活から出たごみも発電の熱源の一部となる特徴を有しており、ごみを排出する際に行う分別は3R（Reduce,Reuse,Recycle）の推進や可燃ごみ処理の安定性に加えて、ごみ発電電力の安定性にも関連性があり、その仕組みを理解し、適切な分別行為によって地域エネルギーの安定供給に協力できることが判るプログラムとなっています。

<本年度の実績>

- 令和7年7月4日 佐賀市立新栄小学校4年1組（32名）、4年2組（33名）
- 令和7年7月9日 佐賀市立北川副小学校4年1組（30名）、4年2組（31名）、4年3組（31名）、4年4組（30名）


授業風景


ゴミ分別カードの分別


ゲーム結果の確認作業

第7回GOgoさがスポ基金による助成



「GOgoさがスポ基金」は、スポーツ環境の整備や競技力向上などに取り組む佐賀県内の団体を資金面で支える佐賀新聞社のキャンペーン企画です。
今年度は以下の3団体が選出されました。

助成団体名	助成事業名	採択金額（円）
❶ SHIROISHI Innovation Lab（白石町）	こども達に感動体験をつくろう事業	150,000
❷ NPO法人 ソーレ・スマイル（佐賀市）	ブカツ未来アクション in SAGA	150,000※
❸ 成章クラブ（佐賀市）	部活動地域移行プロジェクト	75,000
❹ 小城ユナイト（小城市）	バレーボール関連備品整備事業	75,000

※ ❷NPO法人 ソーレ・スマイルは、完了払いのため、次年度助成予定

2025年度の活動報告｜事業指定寄付プログラムによる助成事業

「事業指定寄付」プログラムは当法人と参加するCSOが一緒になって寄付を集める「志金」調達プログラムです。当法人は資金集めの計画を参加のCSOと共に考え、寄付集めのツールや専用口座などの決済機能を用意するプログラムです。
当年度は4件の事業に約152万円を助成しました。

助成団体名	助成事業名	採択金額（円）
❶ 一般社団法人 おもやい	おもやい協働基金	1,000,000
❷ 一般社団法人 ここてらす	ここてらす事業	165,000
❸ NPO法人消費生活相談員の会さが	悪質商法にだまされんばい！基金	267,000
❹ 一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター	コスメギフト基金	85,629

2025年度の活動報告｜分野指定寄付による助成事業

分野指定寄付は、特定の分野（子ども、教育、障がい者、介護、伝統産業、まちづくり、農林水産業、国際協力、途上国支援、働き方、文化・スポーツ・環境・子育て、難病支援、学生支援、ソーシャルビジネス、NPO支援等）に関する事業を行う団体及び個人を対象とした寄付プログラムです。



さがつく災害基金（令和6年能登半島地震支援）

本年度は、「さがつく災害基金（令和6年能登半島地震支援）」により、本災害に対する復旧・復興支援活動を行う佐賀県内CSO等の継続的な活動を支援するプログラムとして300,000円を助成しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額（円）
❶ 癒し隊	石川県輪島市／輪島市の仮設住宅等での整体マッサージ	100,000
❷ 被災地支援チームOKBASE	石川県七尾市・珠洲市／活動拠点でのワークショップ、子どもの居場所	100,000
❸ NPO法人 ソシオの杜	石川県能登町・七尾市・輪島市・珠洲市／エステの提供、避難者への聞き取り（現地支援団体との情報共有）、支援ボランティアの体のケア活動	100,000

2025年度の活動報告｜社会的弱者への資金援助プログラム

さが・こども未来応援プロジェクト入学応援給付金プログラム

GCF（ガバメントクラウドファンディング）で集まった寄付金をもとに、2025年に高等学校等に入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給する「入学応援給付助成事業」です。この事業は2019年から実施しており、本年度は29名の方に総額205万円を助成することが出来ました。



<これまでの助成実績>

助成年度	助成金額	助成人数
2025年度	2,050,000円	29名
2024年度	2,100,000円	21名
2023年度	2,400,000円	24名
2022年度	5,300,000円	53名
2021年度	5,500,000円	55名
2020年度	6,000,000円	30名
2019年度	6,578,000円	43名
合計	29,928,000円	255名

入学応援給付金プロジェクト（さがっこ基金）特設ページ
https://saga-mirai.jp/2025/10/15/ouen_kyufukin/

■ 入学応援給付金の対象者

佐賀県内に住所を有する中学3年生で、高等学校等に進学を希望しており、次の①～③のいずれかに該当する方としています。

❶ 住民税非課税世帯
❷ 生活保護受給世帯
❸ 新型コロナウイルスの影響により経済的に困難な状況にある世帯

【コラム】令和5年度 佐賀県子どもの生活実態調査が公開されています。

佐賀県において、今後の子どもの貧困対策施策の充実を図るとともに、「佐賀県子どもの貧困対策推進計画」の見直しを行うための基礎資料を得ることを目的として、県内の小学2年生の保護者、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者及び児童・生徒（各学年とも約1,500世帯）を対象に調査が実施されました。

2025年度の活動報告｜他団体との協働による助成事業

2025年度 第5回 伝統工芸助成事業

公益財団法人 佐賀未来創造基金 × ピースクラフツ SAGA

佐賀県の伝統工芸を振興し、新たな分野への挑戦を促進することを目的に当財団と認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパンとの協働で実施している事業です。春秋2回助成選考委員にて助成団体の現地を訪問し事業の実施状況を確認しています。

助成団体名	助成事業名	助成金額（円）
❶ 金照堂（有田町）	有田焼 麟Lin陶片アクセサリーブランディング	200,000
❷ 器婦人Club（有田町）	東京展示販売	300,000
❸ 惣太窯（武雄市）	海外展示会用リーフレット作成と展示場整備	200,000
❹ 矢田久美子（有田町）	電気窯の導入	500,000


助成先への訪問（有田町 矢田久美子工房前）


金照堂


器婦人Club


惣太窯


矢田 久美子工房

佐賀ロータリークラブ未来人財奨学金事業

この基金は佐賀ロータリークラブの創立70周年記念事業として設立されました。佐賀市内の高等学校に在籍し、学業、人格ともに優れながらも経済的な理由により就学が困難な生徒を支援し、社会に有用な人材を育成することを目的としています。
本年度は3名の奨学生に各12万円計36万円が贈呈されました。


奨学金 贈呈式

<これまでの助成実績>

助成年度	助成金額	助成人数
2025年度	360,000円	3名
2024年度	600,000円	5名
2023年度	600,000円	5名

2025年度の活動報告｜休眠預金等による助成事業

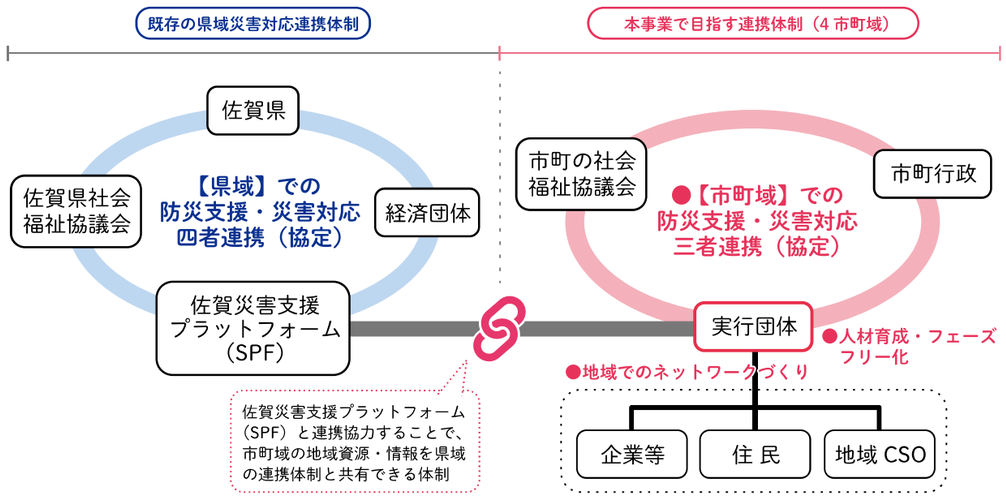
市町域の『災害中間支援組織』発掘・育成・機能強化事業



「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を、民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まり、当財団は一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）による「資金分配団体」の募集に応募し、「市町域の『災害中間支援組織』発掘・育成・機能強化事業」が選定されました。
これまで県域での支援スキームの構築と災害専門団体を中心に支援することで、一定の災害支援の成果は出してきましたが、県域の仕組みでは、実際に被災する市町域の現場には支援が行き届きにくく、市町域レベルで平時から防災・災害支援が出来る（一社）佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）のような災害中間支援組織が必要なことから今回の事業となりました。
今回の事業に共に取り組む民間公益活動団体（実行団体）を公募し、以下の4団体が決りました。

実行団体	助成事業名
❶ NPO法人アリタカラ（有田町）	災害時に効力を発揮する「うちやまネットワーク」構築事業
❷ 一般社団法人おもやい（武雄市）	「いのちを守る」つながりを育むフェーズフリー連携
❸ NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会（小城市）	災害後も「こどものウェルビーイング」を保障するまちづくり
❹ NPO法人温暖化防止ネット（佐賀市）	気候変動の「緩和」と「適応」で支える地域レジリエンス強化プロジェクト

本事業で実現したい県内の災害対応連携体制



これまで当財団では、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）と共同で、行政・社会福祉協議会・民間企業・CSOでの災害対応にかかる四者連携に取り組み、「県域」での災害対応にかかる災害中間支援体制を構築してきました。
本事業を行うことで、市町域での、災害対応に係る三者（四者）連携が構築され、そのコーディネートができる災害中間支援組織（機能）が創出され、前述の県域ネットワークと連結することで、より災害に強く、安心して住み続けられる佐賀県となることを期待しています。

2025年度の活動報告｜寄付文化の普及啓発事業



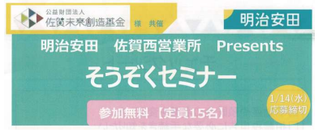
「専門家と学ぶ遺言書作成ワークショップ」を開催（遺贈寄付ウィーク2025特別企画）

● 日時：9月18日（木） ● 場所：鳥栖市民活動センター「クローバー」 ● 参加者：10名
①遺言書に込める「想い」を考える導入ワーク（講師/全国レガシーギフト協会）
②遺言書作成思考プロセス体験ワーク（講師/州都綜合法務事務所　原代表）



「専門家に聞く。私にもできる終活と社会貢献」を開催

● 日時：9月26日（金） ● 場所：佐賀市立鍋島公民館 ● 参加者：50名
①「遺贈寄付は財産の一部からでも可能であり、誰にでも思いを託す方法がある」（講師/州都綜合法務事務所 原代表）
② 寸劇「終活、こんな場合どうすればいい」（子個老癒し隊）



「明治安田佐賀西営業所 Presents そうぞくセミナー」を開催

● 日時：1月16日（金） ● 場所：明治安田生命佐賀西営業所 ● 参加者：15名
「相続と遺贈寄付」（講師/州都綜合法務事務所 原代表）



ソーシャルビジネス支援セミナー　● 参加者29名

日本政策金融公庫佐賀支店と市民生活パートナーズとの共催で開催
① 事業を通じて社会課題解決に取り組む「ローカルゼブラ企業」の紹介等（講師/ちいきん会代表理事 新田信行氏）
② 地元金融機関からの事例発表 「地銀における人材育成と地域活性化」（発表者/横尾 敏史氏（NPO法人鳳雛塾・佐賀銀行）



ソーシャルビジネス支援セミナー　～行政、金融機関、各種支援機関との相互理解を深める～

本年度2回目のセミナーを日本政策金融公庫佐賀支店と市民生活パートナーズとの共催で開催
● 日時：10月15日 ● 場所：日本政策金融公庫佐賀支店 ● 参加者：25名
① 全国の「ちいきん会」の取組紹介（ちいきん会代表理事　新田信行氏）
② 地元金融機関からの事例発表

佐賀CSO交流会2025

2025年12月18日（木）（佐賀県主催/当財団受託運営）

● 講演（話題提供）
「地域・CSOとの連携事例や、佐賀の魅力発信・人材育成に向けた展望」
登壇者（株）ミズ　代表取締役　溝上　泰興氏
● トークセッション「企業とCSOの連携・協働を深めるために」
登壇者（株）ミズ　代表取締役 溝上　泰興氏
認定NPO法人サービスグラント 横道　亨氏
NPO法人AYA 代表理事 中川　悠樹氏
● 山口佐賀県知事との交流会









2025年度の助成実績



◆ 冠寄付による助成実績

(株)佐賀新聞社 第7回「GOgoさがスポ基金」プログラム

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は4ページに記載	300,000



◆ 分野指定寄付による助成実績

さがつく災害基金(令和6年能登半島地震支援)

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	300,000



◆ 事業指定寄付による助成実績

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は4ページに記載	1,520,000



◆ 社会的弱者への資金援助プログラムによる助成実績

入学応援給付金助成事業

助成団体名	助成金額(円)
詳細は5ページに記載	2,050,000

◆ 他団体との協働事業による助成実績

第5回 伝統工芸助成 (認定NPO法人 ピースウィンズ・ジャパン)

助成団体名	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	1,200,000

佐賀ロータリークラブ未来人財奨学金事業

助成人数	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	360,000

◆ 休眠預金等による助成対象事業

市町域の『災害中間支援組織』発掘・育成
機能強化事業

助成団体名	助成金額(円)
❶ NPO法人アリタカラ	10,319,000
❷ 一般社団法人 おもやい	5,334,000
❸ NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会	4,824,870
❹ NPO法人温暖化防止ネット	4,633,488
概要は7ページに記載	25,111,358



市町域の『災害中間支援組織』発掘・育成・
機能強化事業 特設ページの詳細ページ→

2025年度の会計報告

正味財産増減計算書

(単位:円)

(1)経常収益	
基本財産運用益	**751**
基本財産受取利息	751
特定資産運用益	**38,517**
特定資産受取利息	38,517
寄付金振替額	**20,247,560**
事業指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	1,523,629
分野指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	4,589,123
冠寄付振替額	6,363,230
基金応援寄付振替額(事業指定・民間助成金振替含まず)	3,712,828
ふるさと納税寄付振替額(事業指定・分野指定寄付振替含まず)	4,058,750
事業収益	**4,138,780**
受託事業	4,138,780
受取補助金等	**37,830,872**
民間助成金振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	37,830,872
雑収入	**410,461**
受取利息	14,891
雑収入	395,570
経常収益 計	**62,666,941**
(2)経常費用	
事業費	**58,920,879**
①社会的課題解決及び新しい価値の創造のための事業を行う市民社会組織、企業及び個人並びに日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業	3,675,575
②CSO、企業等及び社会的弱者に対する助成、顕彰、報奨、融資、債務保証及びその他必要な資源を提供する事業	7,677,739
③社会的課題解決及び新しい価値の創造のために、地域の動産、不動産などの資源の利活用及び運用に関する相談、コンサルティング事業	1,858,870
④CSO、企業等の組織基盤強化のための人材及び組織の育成事業	1,914,015
⑤CSO、企業等、社会的弱者及び資源提供者に対する相談、コンサルティング事業	1,858,870
⑥社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する普及啓発及びセミナー事業	2,209,870
⑦社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する調査研究及び情報発信事業	2,101,361
⑧社会的課題解決及び新しい価値の創造のための県内外の各関係支援機関との連絡調整及びネットワーク構築並びにこのネットワークを活用したコレクティブインパクト事業	2,234,755
⑨CSO、企業等及び社会的弱者の支援に関する受託事業及び補助事業	35,389,828
管理費　法人の管理運営に係わる経費	**3,746,062**
経常費用 計	**62,666,941**
当期経常増減額	**0**

貸借対照表

(単位:円)

(1)資　産		(2)負　債	
流動資産	**17,350,721**	流動負債	**4,909,864**
現金	0	未払金	841,677
預金	16,619,291	短期借入金	3,840,000
未収金	731,430	預り金	228,187
立替金	0	固定負債	**12,480,000**
固定資産	**46,025,804**	長期借入金	12,480,000
①基本財産(県民の皆様からの寄付による設立時資産)	3,000,750	負債合計	**17,389,864**
②特定資産(寄付受入預金)		(3)正味財産の部	
寄付受入預金	34,347,171	指定正味財産	45,986,661
助成金受入預金	8,638,739	一般正味財産	0
寄付未収入金	0	正味財産合計	**45,986,661**
建物	1	負債及び正味財産合計	**63,376,525**
③その他の固定資産			
器具備品	39,143		
資産合計	**63,376,525**		